

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和4年7月29日

評価対象事業		評価者	商工課長 田邊 幹浩	
市民-19	商工運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	商工課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

対象	事業者等
意図	商工業の振興、物産振興を図るため。
効果	地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

商工事務事業に係る庶務的業務を行った。 コロナ禍の影響を受け、鎌倉市商工業振興計画の策定を見送り、姉妹都市物産展を中止した。
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)		
01	商工業振興計画推進委員会運営事務	コロナ禍の影響により未実施	-	- / -	-	-	-
02	姉妹都市物産展事業	コロナ禍の影響により未実施	姉妹都市物産展の来場者数(人)	0 / -	-	-	-
03	一般事務経費	消耗品の購入	-	0 / 538	538	674	-
04				- / -	-	-	-
05				13 / 93	93	93	-
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	0 / 390	390	390	
			一般財源	13 / 457	457	593	
			事業費の合計(千円)	13 / 847	847	983	
		人件費(千円)		1,517	1,537		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.2	0.2	0.2			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	商工業振興計画推進委員会運営事務	指標: 設定しない 推進委員会の開催、運営及び計画の作成に当たっては、指標設定にそぐわないため	第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の施策の方針の一つである「商工業振興の充実」をもとに、本市の商工業振興のあり方について整理し、施策の基本的な方向性と取り組むべき内容を具体的に示す個別計画の策定を行う。	Withコロナ、Afterコロナの状況を踏まえた計画にするため、策定を見送った。 コロナ禍の影響を受けた事業者等への支援を計画に盛り込むため、事業継続支援、消費喚起、新たな生活様式への対応、雇用の維持・確保等について検討を行う。 あわせて、コロナ禍における観光客の減少等に係る市内経済活性化について、検討を行う。
02	姉妹都市物産展事業	指標: 姉妹都市物産展の来場者数(人) なお、目標値は、気候や天候等に左右されるため、設定しない。  指標分析: 令和2年度(2020年度)に引き続きコロナ禍の影響により未実施。	萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を広く市民に紹介する姉妹都市物産展を開催することで、姉妹都市への理解と相互交流の推進を図る。	次年度に向け、コロナ禍の状況に応じたイベントの開催方法等について、検討を行う。
03	一般事務経費	指標: 設定しない 消耗品の購入に係るものであるため。	商工課の業務に必要な消耗品の購入を行う。	特になし
04				
05	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 姉妹都市(萩市、上田市、足利市)

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>商工業振興計画は、商工業の持続的な発展と活力あるまちの創出を目指し、商工業に関する施策を総合的かつ効果的に推進し、雇用の創出、事業者の売上増加による法人市民税の確保、生産年齢人口の減少抑止による個人市民税の確保を図ろうとするもので、本市の商工業政策の羅針盤となるものである。第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の個別計画に位置づける。商工業振興計画推進委員会の意見を聴き、令和4年度中の策定を目指す。</p> <p>姉妹都市物産展については、コロナ禍におけるより安全で、効果的な開催方法(オンライン開催等)を検討するとともに、将来的には、対面販売方式に加え、さらに交流の付加価値を付けられる取組になるよう検討する。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	姉妹都市物産展の来場者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
来場者数の推移を把握するため ※R2、R3は実施なし	目標値	-	-	-	-	-	-	
	実績値	0	0					
	達成率	-	-					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	商工業振興計画(産業振興計画を含む)の策定状況(県内各市 ※政令指定都市を除く)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市
他市状況	×	○	×	×	○	×	○	×
	南足柄市	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	秦野市	伊勢原市
	×	×	○(商業)	○	×	○	○(工業)	○(商業)

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	商工業振興計画の策定に当たって、県内各市の施策の方向性を確認しながら、本市独自の計画を策定する。
--------------------------	--